

①問題意識 | THE ISSUE

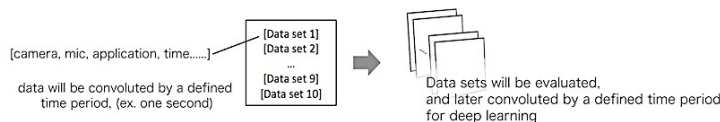
現代の認証技術の問題点: ユーザビリティや成り済ましへの課題

Webサービスが多様化する一方で、現代のユーザ認証の多くはパスワード認証によって行われているが、この認証法はユーザビリティやセキュリティの面で多くの問題を抱えている。パスワード認証を利用しない知的認証・所有物認証も存在するが、認証に利用される知識や所有物が漏洩した際、いずれも成りすましが可能となってしまう。生体認証を利用する手法では、生体情報が漏洩した際に変更が不可能である等、課題点は多々存在する。

③実現手法 | THE METHOD

センサー+ディープラーニングで本人の「クセ」を抽出

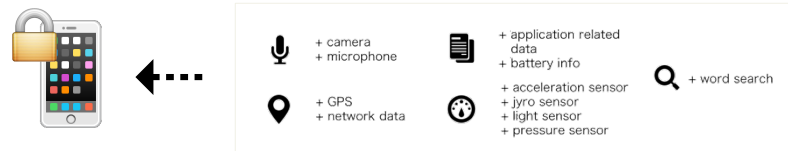
本研究では、スマートフォンで取得できるあらゆるセンサーデータを利用し、これをディープラーニングで学習させて、スマートフォン所有者の「クセ（＝本人性）」を抽出する。



②研究目的 | OBJECTIVE OF RESEARCH

新しい認証技術: センサーデータを利用した認証方法

本研究は、スマートフォンのセンサーデータを利用して認証を行なっている人物の本人性を得るとともに、ユーザビリティに配慮した新しい認証方法を提案することを目的とする。



④期待される成果 | RESEARCH CONTRIBUTION

行動計量に基づいた認証: ユーザにとって容易で安全な設計を

本研究は、現代の認証が抱えるユーザビリティ問題を解決できる。まず、行動計量に基づいた認証手法である為、知識認証や所有物認証で可能な成りすましが困難である。

次に、本研究では継続的にデータの取得を行なっている為、生体認証では叶わない身体的・環境的变化に対し、柔軟な設計が可能である。

スマートフォンにおけるユーザ行動計量を利用した認証方法の提案

A BEHAVIORMETRIC AUTHENTICATION METHOD USING SMARTPHONES | B4 SASSAN, Group KUMO

